

C S だより

文責：菊岡 文枝
(CS ディレクター)

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる今日この頃です。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

12月には恒例の6年生による須津地区古墳巡りを行い、地域の大事な遺産である千人塚古墳と浅間古墳への学習を深めました。須津まちづくり協議会の古墳活用委員会の皆さんと富士市文化財課の学芸員のご協力をお願いしました。

12・1月活動記

図書室前掲示板装飾

1月19日（月）に2月のバレンタインデーを意識した装飾になりました。ボランティアの皆さんのアイデアで今回は「シマエナガ」が登場しました。とてもかわいくて子供たちはよろこんでいました。子供たちの「かわいい！」という声がボランティアの皆さんの励みになっています。



6年生の古墳学習

12月17日（水）に二つのグループに分かれて、浅間古墳（国指定史跡）と千人塚古墳（富士市指定史跡）に行ってきました。昨年11月1日に盛大にオープニングイベントが行われた千人塚古墳は1400年の歴史を感じさせないくらいきれいに石室も整備され、石室の大きさがより解りやすくなりました。当日は埋蔵文化財室の学芸員の協力で、千人塚古墳から発掘された須恵器や土師器も展示してもらいました。手で触ることもでき貴重な体験になりました。石室内にも入って、石棺が置かれていた場所もわかりました。

また須津の名所を巡る地図も展示しており、古墳だけでなく須津を知ってもらう機会になります。ぜひ皆さんも訪ねてみてください。



千人塚古墳（富士市指定史跡）

造られた年代	7世紀前半から中ごろ
墳丘のかたち	円墳
墳丘の大きさ	直径約 21m
石室の大きさ	全長 11. 4 m以上、高さ 2 m以上
副葬品など	石室内に石製箱形石棺 3 基、馬具、武具、須恵器あり

浅間古墳は、レーザー測量で墳丘の長さが確認され、前方後方墳としては東海地方最大規模の古墳であることが確認されています。須津古墳群の最初のスルガ王の墓と思われます。地中レーダー探査では、後



方部に石材を利用した竪穴系埋葬施設が確認されました。浅間古墳は南側から見た高さと北側から見た高さに大きな差があり、海側から見た時の大きさを強く意識して造られています。今後は発掘調査も行われる予定の浅間古墳です。楽しみです。

浅間古墳（国指定史跡）

造られた年代	4世紀中葉
墳丘のかたち	前方後方墳
墳丘の大きさ	長さ約 90. 8 m
埋葬施設	後方部地表 2. 0～2. 5mの深さに幅 1 ～ 3 m程度の埋設物がある 竪穴式石室か？

須津古墳群には約 200 基の古墳が群集しています。浮島ヶ原を取り囲むように造られた古墳の被葬者は、水上交通や陸上交通路の管理などを通じて密接な関係を築いていたと考えられます。富士市は国指定史跡である浅間古墳とその周辺の保存活用計画をたて、地域の皆さんと協力して整備を進めていくそうです。